




2024 年 3 月

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(1 ページ\)](#)
- [問題 \(3 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces で次の機能が導入されました。

Cisco Spaces ダッシュボード

予定表 GUI 統合 : Microsoft 365 予定表統合機能が Cisco Spaces で導入されました。この機能を活用して、Microsoft 365 予定表アカウントを Cisco Spaces アプリケーションに接続し、Cisco Spaces ダッシュボード **[Menu]**  **> [Integrations]** で統合された予定表の詳細を表示します。

インポートされた予定表が Cisco Spaces : Space Manager アプリケーションに表示されます。

コネクタ 2 Docker バージョン 2.0.670

- Cisco Spaces : コネクタ の断続的なデータドロップの問題が修正されました。大量のトラフィックがシステムに入り、コネクタがデータチャネルを拡張する必要がある場合、コネクタで断続的なデータ損失が通知されます。
- デバイス (ワイヤレスコントローラなど) のログイン情報は、デバイスを追加するときに障害プロセスの一部として出力されます。この問題は修正され、デバイスの詳細は障害状態では表示されません。
- クラウドへのアクセスポイント数の同期の問題が修正されました。これは、ワイヤレスコントローラ からの Netconf 応答に特殊文字が含まれている特有のシナリオです。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces では、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces ダッシュボード

ロケーションとマップのサポート：ロケーションとマップ機能が強化され、Cisco Prime Infrastructure のロケーションを Cisco Catalyst Center のロケーションと（逆の場合も同じ）、単一のビジネス階層の下にマージできるようになりました。

この機能拡張の前は、Cisco Prime Infrastructure から Catalyst Center へのロケーションのマージ、およびその逆のマージはサポートされていませんでした。

Cisco Spaces : Space Manager : 部屋の使用状況レポート

Cisco Spaces : Space Manager アプリケーションでは、[Occupancy Reports] セクションが次の機能で拡張されています。

- [Report Parameter] ウィンドウでは、[Rooms] レポートレベルオプションが有効になっていて、レポートの作成または編集集中にルームを直接選択できます。
- 使用状況レポートは、CSV ではなく XLSX フォーマットでダウンロードできます。
- レポートを削除できるようになりました。省略記号アイコン (...) をクリックし、[Delete] をクリックして使用状況レポートを削除します。

Cisco Spaces : IoT Explorer : スマート変数

Cisco Spaces : IoT Explorer アプリケーションでは、[Rules] セクションが拡張され、新しいスマート変数 **DeviceName** が含まれるようになりました。このスマート変数を使用して、電子メール、テキストメッセージ (SMS)、および Cisco Webex 通知をトリガーするときに、[Location Name]、[MAC Address]、[URL] などの他の変数とともにデバイス名をメッセージに含めます。

Cisco Spaces : キャプティブポータル : アクセスコードマネージャ

Cisco Spaces : キャプティブポータルアプリケーションでは、[Settings]>[Access Code Templates] タブが拡張され、[Enable Access Code Template] チェックボックスが含まれるようになりました。

[Enable Access Code Template] チェックボックスをオンにして、[Create Template] をクリックし、選択したロケーションの定義済みテンプレートを作成します。このオプションが有効になっている場合は、最初にテンプレート（ロケーションで使用可能）を選択してから、Cisco Spaces : キャプティブポータルアプリケーションの [Access Code] セクションで使い捨てアクセスコードを作成します。



(注) Cisco Spaces : キャプティブポータルアプリケーションの [Settings]>[Access Code Templates] タブで [Enable Access Code Template] チェックボックスが無効になっている場合、現在のアクセスコード作成プロセスに変更はありません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 1: Cisco Spaces の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwi76073	関連付けられたサイネージを削除しても、ロケーションを削除できない。
CSCwi11258	マップサービスからの建物の削除に失敗する

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。